

エンパワーするNGO



京都 YWCA

5
2020

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「京都 YWCA あじさい保育園」が開園しました



あじさい保育園

98 年の歴史の中の大きな一歩

京都 YWCA あじさい保育園がこの度、開園となりました。園児・保護者・職員など多くの方が京都 YWCA に関わることで、98 年の歴史の中でも「保育園開園」は大きな転機となります。

今春から通われることになった園児は 0 歳から 5 歳までの 41 名。これまでに京都 YWCA で実施してきたさまざまなプログラムでお会いしたことがある園児も見られます。月に数回しか会えなかったお子さんたちに毎日会い、成長を見守ることができることは大きな喜びです。

「出会いをよろこぶ会」でスタート

4 月 1 日に「出会いをよろこぶ会」が開催されました。あじさい保育園の園長は京都 YWCA の中で一番職員歴が長い井上依子さん。井上さんよりみなさんに「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」（イザヤ書 43 章 4 節）という聖書の一節が贈られました。「出会いをよろこぶ会」は 3 回に分けて行われました。保育園職員が全員揃って行う保育園としての初めての行事でしたので職員たちは緊張していましたが、回を追うごとに緊張がほぐれ、園児や保護者にも笑顔があふれていきました。

4 月 2 日、保育初日は 2 時間だけの慣らし保育。初めて子どもを預けて後髪を引かれて去っていく保護者、心配でなかなか去れない保護者の姿もありました。突然の保護者不在に驚き、2 時間の間、涙が流れっぱなしの園児、初めてつける布オムツの感覚がどうも気になる園児もおられました。案外、気持ちの切り替えが早く、お気に入りのおもちゃを見つけた園児もいて、初日からおもちゃはフル稼働。

あじさい保育園にはピアノをはじめ、ブロック・パズル・ままごと道具など京都 YWCA 会員・会友からの寄贈品が多数あり、保育士が厳選し、成長に合わせて入れ替えながら使用していきます。8 日間続いた慣らし保育の間、保育士はいつもより長く話し合いの時間を取り、園児の様子の共有、さまざまなルール作りに努めました。保育士はアプリを使ってリアルタイムでお子さんの様子を保護者に伝えることができます。またこのアプリは保育士の事務量を軽減し、より園児と向き合う時間を確保することがきます。全員の給食は保育 5 日目から始まりました。調理員によって作られる自園給食です。アレルギーをもつ園児もおられるので 4 月の間はすべてのアレルギーを除いたメニューが工夫されて提供されました。

YWCA が培ってきたものを活かす保育園に

新型コロナウイルス禍真っ只中の現在、まだ全員の園児と顔を合わせていません。5 月が過ぎ、41 名がそろってから私たちの本格的な保育が始まります。いつの日か定員の 60 名の園児を迎える頃にはどのような保育園に育っているでしょうか。東京 YWCA まきば保育園や大阪 YWCA 大宮保育園などの先輩園からアドバイスをいただきながら、井上園長と京都 YWCA が培ってきた親子支援、多文化・多世代交流、平和への取り組みなどを交えて、あじさい保育園らしい歩みを進めていきたいと思っています。みなさまのあたたかい見守りをよろしくお願いいたします。

園舎建設工事期間中は近隣の方々をはじめ、クラス受講者、貸室利用者、会館入居者などたくさんの方のご理解とご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

(岡 佑里子)



「出会いをよろこぶ会」の様子



「出会いをよろこぶ会」で贈られたメダル



開園を祝って寄せられたカード

新年度ごあいさつ



2020年度 京都 YWCA 運営委員会 会長 弘中奈都子

新年度にあたり、京都 YWCA のミッション推進活動部門運営委員会より、ご挨拶いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大で健康はもとより、あらゆる困難の中、先の見えない不安な毎日を過ごしています。

本年度も京都 YWCA は、「私たちが目指すもの」を4つ掲げています。「女性やこどもの人権が守られる社会」「多様性を尊重し異なる文化や背景を持つ人々と共に生きる社会」「あらゆる暴力を否定する社会」「核のない持続可能な地球環境」。これらを目標として各委員会・働き場所で具体的に活動を進めます。

現実には、私たちが目指す社会とは反対の方向に引き戻されるようなことばかりです。「女性やこどもの人権が守られる社会」という目指す方向とはまるで反対に進み、社会的弱者に対しての影響も本当に深刻です。経済的に中小の事

業者を破綻させないことや収入が途絶えた人を救済することが、今すぐ求められているにもかかわらず、的確な策が講じられていない現実があります。ひいては、多様性を否定し、あらゆる暴力を生みだしているかに見えます。

他にもこれまで経験したことのないさまざまな事態が長期にわたり続くことが予想されます。今ほど自ら判断して、決断する目と姿勢を持ち行動するというのが、強く求められている時はないと思います。厳しい現実の中、それぞれの身を守りながら粛々と活動を進める必要があります。

さて、京都 YWCA は今年度から保育園事業を開始しました。先輩から受け継ぎ、大切に培ってきたものを土壌として、未来を担うこどもたちの育ちに活かすことでできればと願っています。

日本 YWCA の地域連携事業ローカルアクション（LA）にも取り組み、その一つである「ユースエンパワメント事業」が始動しています。また、「ふれあいの居場所事業部委員会」が再編成されました。「セーフスペース」・「居場所」について考えていきます。食の提供も含め、再度、全体を見まわし、未来を見据えて、前向きな取り組みにつなげることを目指しています。

若い世代の活躍を期待すると共に、今だから、これまでと違う新しい発想で困難を乗り越え、共に歩み続けたいと思います。

あじさい保育園はこんな感じです！



もも組（0歳）の部屋

あじさい保育園は、保育士、栄養士などの新たなメンバーを迎え、京都 YWCA 全体で総勢 18 名の職員となりました。非常勤職員 13 名とともに、新しい一歩を踏み出しています。

シフトで働く職員が、着替えたり思い思いの時間を過ごせるよう、ロッカールームや休憩室も整備しました。

新型コロナウイルスの影響でしばらく登園を見合わせている子どもたちもありますが、元気な声や泣き声、歌を歌う声などが響いています。アレルギーへの注意はもちろんですが、野菜や乾物、たんぱく質などバランスのとれた手作りの温かい食事が年齢に応じて用意され、午後のおやつも子どもたちの楽しみのひとつです。

始まってみると、足りないもの、配慮を加える方がいい場所など、やってみてわかることも多く、引き続き工夫を重ねながら歩みを進めていきたいと思っています。

（保育園スタッフ）



ある日の昼食とおやつ



職員休憩室



みどり・にじ組（3・5歳）の部屋

京都 YWCA ユースエンパワメントの活動 ユースによる『Rise Up』出前ワークショップ

若い女性を応援する組織として、京都 YWCA は 2018 年度よりユースエンパワメントの取り組みをしてきました。この取り組みの中から、近隣の中・高等学校の YWCA との関係が構築され、また京都 YWCA の活動に関わるユースたちのつながりが生まれました。

昨年 4 月、日本 YWCA から『若い女性の変革をもたらすリーダーシップのためのグローバル・ライズアップ・ガイド』日本語版が発刊されました。これは世界中のあらゆる場所にいる若い女性の自己変革と、自身のリーダーシップの潜在能力を引き出すための手引き書です。私たちが「Rise Up (ライズアップ)」と呼ぶこのガイドを用い、インプットは自主勉強会、アウトプットを出前ワークショップと定め、ユースたちの活動が始まりました。

実際の集まりとオンラインを活用した準備を経て、第 1 回目の出前ワークショップを 2 月 14 日に同志社女子中・高等学校 YWCA で、2 月 22 日に平安女学院中・高等学校 YWCA でそれぞれに行いました。ワークショップでは「自分自身を知る」をテーマに、二つのグループワークに取り組みました。一つは自分の好きなもの・嫌いなもののリストアップ。もう一つはさまざまな「言葉」から受ける「性別

の印象のグルーピング。ワークで大切にされるのは、自分の考えです。どうしてわたしはこれが嫌いなのか、どうしてわたしは「社長」といえば「男性」を連想するのか。グループで話し合いながら自分の考えを明らかにしていきます。その過程で社会にある固定概念や、ある価値観に自分が強く影響されているということに気が付きます。

印象的だったのは、ワークショップ会場を包んでいたリラックスした雰囲気です。安心して自分の考えを伝えることができ、それが受け入れられる場所になっていたからかもしれません。

始まったばかりの活動ですが、関わるユースが少しずつ「Rise Up」されていくことを見守りたいと思います。

(別所加恵)



中学生も高校生も一緒に
なって考えます



「どうしてそう思うの？」

トラウマインフォームドケアについて学ぶ

～「こころのケガ」への理解に基づく「トラウマのメガネ」で子どもの姿をうけとめる～

京都 YWCA が 4 月に保育園を開園するにあたり、子どもへの理解を深め、支援する人が増えるよう 2019 年 10 月から連続で保育サポーター養成講座を開講しました。最終回は社会的養護の子どもたちの支援にも大切なトラウマインフォームドケアについて野坂祐子さん（大阪大学大学院人間科学研究科・一般社団法人もふもふネット）にお話をうかがいました。

子どもたちの行動にはトラウマの影響が深く関わっていることがあります。災害や事故、虐待やネグレクト、過干渉などは子どもの「こころのケガ」であるトラウマになりやすく、体調不良や落ち着きのなさ、自傷、対人トラブルなどの影響（トラウマ反応）が出る場合があります。トラウマの影響は見えにくく、過去の体験が現在の行動に関与していることに気づかず、その子の問題や特性だと決めつけがちです。トラウマを体験すると、それを思いださせるきっかけによりトラウマ反応が起こります。子どもの体験を理解し、どんな刺激がきっかけになって問題行動を起こしているのか周りの人が気づくことが求められます。子どもや家族にこころのケガについ

て説明し、本人のせいではなく、うまくいかないことがあるのは当たりまえだと伝えます。子どもの自責感や無力感を軽減し、自分の気持ちや行動をコントロールする方法を見つけられるように寄り添うことが必要です。この理解に基づく「トラウマのメガネ」で子どもの姿を受けとめると、問題行動を叱責してトラウマ反応を引き起こすなどの再トラウマを防ぐことができます。

トラウマインフォームドケアは、専門家がトラウマを治療するのとは違い、「風邪をひいたら温かくしてよく寝てね」というのと同じで「こころがケガしたらうまくいかないこともあるからゆっくりしようね」とみんながケアする公衆衛生なのだという講師の言葉が印象的でした。

支援者も支援する過程で子どものトラウマの影響を受けることがあります。本人がその影響を自覚し、一人で抱え込まず、組織全体で支援者をケアする体制を整える必要があります。京都 YWCA がチームとなって支援を行う NGO であるよう努めていきたいと思います。

(平野富希)

宿題の絵日記帳

今井信吾



おすすめ！

京都 YWCA 的書籍紹介：

『宿題の絵日記帳』

〈著者 今井信吾 出版社 リトルモア〉

「涙と共に種を蒔く人は 喜びの歌と共に刈り入れる」(詩篇 126 篇 5 節)

どのページにも、生き生きとした少女の姿が描かれている。画家である著者が、聾学校に通う次女の日々の姿を描いた絵日記で、聾

話学校から家族に出された宿題でもある。

父の絵日記を見て、娘は毎日学校の先生と「おはなし」する。父の眼を感じ、先生が絵から読み解く「言葉」を真似る。「ことば」と「あたま」と「こころ」をつなぎ、子どもは育っていく。難聴者の辛さや葛藤や努力は想像するしかない。高度の難聴である子だからこそ、おとなは、一つひとつの言葉を丁寧に、その子が「聴こえるように」伝えていく。その子が何を感じ、語ろうとしているのかを「聴こう」と耳を澄まし、語ろうとする努力に寄り添う。

本書には子どもが人として育つ当たり前の、でも、とても大切なことが描かれている気がする。冒頭の聖語は、聾話学校の担任があとがきに記していたもの。日々の生活の積み重ねの成果は、今や三児の母となり、新進画家として活躍する娘の姿に表れている。

(編集部)

「京都 YWCA 未来応援募金」へのご協力をお願い

「未来応援募金」は京都 YWCA の事業・活動を応援いただく募金です。ご寄付は主に次の目的に当てられます。

◎保育園備品の充実

園児の健やかな成長に応じての備品購入に。

◎サマリア館の幌(ほろ)のリニューアル

W.M. ヴォーリス設計のサマリア館の西壁面の幌リニューアルに。

◎ユース育成

国内外のプログラムへの若者の参加支援などに。

郵便振替 01080-9-1566

加入者名 公益財団法人京都 YWCA

※通信欄に「未来応援募金」とご記入ください。

京都 YWCA へのご寄付の詳細は事務所に問い合わせさせていただくか、ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>

遺贈のご案内

生前にご遺産の一部を寄付されることをお約束いただく制度です。女性と子どものエンパワメントをめざす京都 YWCA の事業への賛同のご意志が、未来にひきつがれます。



開館時間変更のお知らせ

2020 年度より、開館時間を下記の通り変更いたします。

■開館：9:00 ※貸室利用は 10:00 〜

■閉館：月・金・土曜日 17:30 (会館利用は 18:00 まで可)

火・水・木曜日 19:30 (会館利用は 21:00 まで可)

ご協力ありがとうございました

2020年2月1日から2020年3月31日 寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

小川久美子、山本いづみ、
日本キリスト教団京都九太町教会

日本キリスト教団洛陽教会、榎ピーコス

*平和・環境活動委員会
木戸さやか

各指定寄付

*未来応援募金

吉川文一

*自立援助ホーム「カルーナ」
富田恵津子、江川みゆき、雀部真理、
宮武美知子

一保育園備品募金

横川幸治、太田興、有田孝子

日本キリスト教団京都南部地区、
同志社女子大学宗教部、

一「れんが」プロジェクト

宮武美知子

日本キリスト教団京都九太町教会シオン会

*多文化共生委員会

宮武美知子、匿名、
同志社女子大学宗教部

日本キリスト教団京都九太町教会、

日本聖公会聖アグネス教会、

日本キリスト教団京北教会

日本キリスト教団室町教会、

公益財団法人福岡 YWCA

*APT

張善花、北垣由民子、安藤いづみ、
北村保子、匿名

*賛助費

佐伯昌和、井原圭子、白根睦久

ふれあいの居場所食堂「うららかふえ」から
ボランティア募集のお知らせ

京都 YWCA のコミュニティカフェ「うららかふえ」は人々の交差点となるふれあいの空間です。

ご一緒に「ふれあいの居場所づくり」に携わってみませんか？
ランチ提供や接客のお手伝いを募集しています。
(年齢・性別・経験不問)食堂ボランティア：(火)〜(土) 9 時 30 分〜16 時の間、
時間や頻度は応相談

問い合わせ先：担当職員 御前(みさき)

TEL：075-431-0351 FAX：075-431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp



3・4月/理事会報告

- 保育園事業を京都 YWCA の公益事業として加える公益法人変更申請が京都府より承認された (3/3)。
- 新型コロナウイルスへの対応として、職員、居住者、来館者への衛生・環境上の基本的ルールの周知に努め、プログラムやイベントの実施判断に関して十分な注意を促す。
- 保育園の園舎が完成 (3/12)。3 月に園庭、保育士更衣室・休憩室等を整備。
- 4 月 1 日、京都 YWCA あじさい保育園を開園。新型コロナウイ

ルス流行のため、時間差をつけ略式で入園式を実施。4 月 2 日〜11 日まで慣らし保育を実施。

- 保育園事業の進捗を把握し、従来の事業・活動を保育園に活かしていく方法を検討する保育園事業部委員会を設置した。
- 2020 年度より、うららかふえ事業部委員会は「ふれあいの居場所事業部」と改名。その下に食堂チームを置き、多様な居場所の在り方を探り、居場所づくりを推進していく。

KYOTO YWCA No.556 2020 年 5 月号 (5月1日発行)

発行人：上村 聡子

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上ル近衛町44

電話：(075) 431-0351

FAX：(075) 431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

HP：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：(公財) 京都 YWCA

定 価：1 部 50 円

発 行：奇数月 1 日発行